

普及活動情勢報告（令和6年6月分）

高吾農業改良普及所

トマト産地の維持・発展に向けて ～個別経営面談の実施～



経営面談の様子

普及所は、6月7日から促成トマト生産者21名の個別経営面談を実施しています。
面談では、3カ年決算分析と出荷データをもとにR6園芸年度の経営目標の達成状況を確認し、R7園芸年度に向けての課題と改善策や経営目標についてアドバイスを交えて設定しました。
生産者から「初期の管理不足から、病害虫防除が遅れ生育に影響し目標収量を大きく下回った」、「雇用者が確実に確保できない。どのようにすればいいか」など個々の課題が出され、この対策について検討をおこないました。
普及所では、現地巡回指導を重点的に実施して生産者が目標達成できるよう支援を継続していきます。

夏秋トマトの安定生産に向けて ～夏秋トマト現地検討会の開催～



現地検討会の様子

5月29日、仁淀川夏秋トマト生産部会の生産者3名が参加して、現地検討会を開催しました。参加者は部会員の各ほ場を巡回して生育状況を共有するとともに出荷開始時期の確認を行いました。
普及所からは管内の病害虫発生状況とこれからの防除対策、高温・天候不良時の着果不良や尻腐れ果対策について説明しました。
生産者からは「コナジラミがなかなか減らない場合はどうしたらよいか」といった声がありました。普及所からは農薬のかけ方やローテーション散布など防除について助言を行い、農家間での意見交換も活発に行われました。
普及所では、今後も巡回を通じて栽培管理指導を行い、夏秋トマトの安定生産に向けて支援していきます。

サンショウの栽培管理を徹底して収穫増を！～ヒューマンライフ土佐 生産者説明会～



ヒューマンライフ土佐生産者会の様子

6月7日、越知町民会館でヒューマンライフ土佐のサンショウ、ダイダイの生産者向けの栽培説明会が115名の生産者が参加して開催されました。
サンショウ、ダイダイの出荷規格や受け込み時期を周知することを目的とした会で、普及所からは、昨年度実証試験を行った緩効性肥料による礼肥の効果について情報提供を行ったほか、サビ病防除の徹底と熱中症対策について注意喚起しました。
生産者からは、「緩効性肥料を使うと、早めに施肥をしても礼肥の効果があるのか。」といった質問がありました。
普及所は、今後も巡回等を通して、サンショウ、ダイダイの安定生産を支援していきます。